

■ファッションビジネス科 1年次 前期

授業名		内容
服飾造形	採寸法基礎	服を作るには、パターン製作の基本となる採寸法、デザインや素材、歴史的な背景などさまざまな知識、作図理論などを多岐にわたり学習することが重要です。1年次前期の服飾造形の授業では、服作りの基礎を知ってもらうことを第一目的として、手縫い・ミシン縫いの基礎練習、エプロン製作を通して作図法の基礎から製作までを学習します。
	縫製基礎	
	パターン設計基礎	
ファッションビジネス論	アパレル用語概論	現代生活においてファッションは欠かせないものであり、生活につながるものすべてがファッションといえる時代です。その中において、人々のニーズを察知し、消費者に提供するプロセスの中で、企業の構造を知り、情報を的確にとらえて、もてる知識や技術、創造力を駆使して、社会に出たときに迅速に対応することのできる能力を養うことを目標とします。1年次前期のファッションビジネス論では、アパレル産業の構造について学習します（テキスタイル産業、アパレル産業、小売業の構造、カテゴリ・アイテム・シャツ・ブラウス・スカート・パンツ・ワンピース・オールインワン・ジャケット・コート等の商品知識）。
	アパレル産業概論	
	マーケティング基礎	
色彩	色彩	<p>前期では、以下の要素について具体的に学習します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.色の基本：色相、明度、彩度について 2.色彩の調和：色の組み合わせとその効果について 3.光と色：光源の種類の色や色の見え方について 4.色彩心理：色が人に与える心理的影響 <p>これらの学習を通して、まず、色彩の基本的な知識を習得します。また、色の持つ意味や印象を理解することで、人間活動に色彩は深く関与していることなどを学びます。なお、着彩などの実技学習も加え、学生の行動体験を通して理解を深めてもらえるように工夫しています。</p>
スタイル画	スタイル画	<p>スタイル画とは、衣服の設計図を指し、ファッションのアイデアをわかりやすく伝えるために必要となります。まず、基礎ではフリーハンドで滑らかな線の書き方から始まり、8頭身のプロポーションが描けるようになるまで練習をします。そのうえで、身体の向きを変えたポーズの描き方を勉強し、ボディパーツ～洋服を含むアイテム等を練習します。そして、素材表現として、素材や柄の描き方を学習します。応用では、実践として、デザイン画の製作を学びます。着衣女性、着衣男性、アイテム画（シャツ・スカート・パンツ・ジャケット等）、柄の練習を行います。</p>
ビジネス コミュニケーション	ビジネス コミュニケーション	日本語学校在籍時に学習した初級日本語の文字・語彙、文法、読解、聴解の復習と、初中級レベルの新項目の学習を通して、日本語能力試験の受験に備えます。また、将来の就職への意識醸成時期ととらえ、日本企業で働くための「現場」の日本語を学び、日本の社会生活に必要な慣習、マナーに目を向けます。

■ファッションビジネス科 1年次 後期

授業名		内容
服飾造形	縫製基礎	前期の服飾造形で学習したことをもとに、作図、パターンメイキングを行い、裁断、仮縫い・試着補正、縫製の流れを把握することを目的とします。タイトスカートの製作を進める中で、これらを学びます。
	パターン設計基礎	
ファッションビジネス論	小売業概論	1年次後期のファッションビジネス論では、アパレル商流、マーケティング、スーツ・ワイシャツ・ニット・カットソー・ファッション小物等の商品知識、シルエット・ディテール・柄・素材・洗濯表示等のデザイン要素、VMD、シーズンスタイリングについて学習し、販売演習を行うことを目標とします。
	マーチャンダイジング 基礎	
色彩	色彩	<p>前期で学んだ基本的な色彩理論をベースに、学習内容をより深化させていきます。後期では、以下の要素について具体的に学習します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.色彩とファッションデザインにおける相互作用の理解 2.色彩心理を応用した独自スタイルカラーの創造 3.色彩理論をマーケティング戦略に落とし込む技術 4.色彩検定3級程度の実践力を身につける <p>後期の学習では、特にファッションとの関連性についてフォーカスした授業を行います。また、着彩などの実技課題を反復することによって、個々の能力を高めていきます。年間の授業を履修することにより、色彩を巧みに活用出来るテクニックを習得します。</p>
アパレル素材論	アパレル素材論	ファッションにおいて重要な素材について、繊維・糸・織物・ニット・染色・加工・柄の観点から学習します。座学だけではなく、紡績・織り・染め・燃焼実験等の実習を適宜行います。「素材」を知ることで、服の構造やデザインの理解を深めることをねらいとします。
ビジネス コミュニケーション	ビジネスコミュニケーション	語学学習と合わせて、ビジネスシーンにおいて必須ともいえる敬語の使用について、その基本から学びなおします。あわせて、就職への意識の高まりを期待し、簡単な自己分析・自己PRの作成、履歴書作成指導も開始します。
	サービス接遇演習	
	自己分析・自己PR	

※実習内容（製作物等）は、年度により変わることもあります。

■ファッションビジネス科 2年次 前期

授業名		内容
服飾造形	採寸法応用	1年次の服飾造形で学習した内容の発展課題として、文化式原型作図（1/4縮尺、実寸）とそのトワル組み・補正を行います。
	縫製応用	
	パターン設計応用	
ファッションビジネス論	アパレル用語概論	2年次前期のファッションビジネス論では、ファッションマーチャンダイジングの基礎知識、商品企画、生産、販売の流れ、ファッション業界についての復習、縫製工場、アパレルメーカーの業務内容、縫製仕様書について学習します。
	販売論	
	商品企画・生産管理	
ファッション工芸	ファッション工芸	ファッション工芸とは、作図、裁断、縫製の技術を学ぶために、物づくりのノウハウを身につける授業です。2年生前期では帽子製作、バッグ製作を行います。また、縫製工場で使用されているミシン操作の熟達を目標に、職業用ミシン、工業用ミシンを使用します。
	工業用機器演習	
アパレルCAD	アパレルCAD	東レACS株式会社のPatternMagic II を使用し、前期は基本的な操作とショートカットキーを覚えるのを目標として各種スカート、子供服パターンの作図を行います。
ビジネス コミュニケーション	ビジネスコミュニケーション	日本語学校在籍時に学習した初級日本語の文字・語彙、文法、読解、聴解の復習と、初中級レベルの新項目の学修を通して、日本語能力試験の受験に備えます。また、将来の就職への意識醸成時期ととらえ、日本企業で働くための「現場」の日本語を学び、日本の社会生活に必要な慣習、マナーに目を向けます。

■ファッションビジネス科 2年次 後期

授業名		内容
服飾造形	採寸法応用	前期で学んだ身頃原形をもとに、シャツ製作を通して、採寸・パターンメイキング・縫製の応用力を高めます。
	縫製応用	
	パターン設計応用	
ファッションビジネス論	販売論	2年次後期のファッションビジネス論では、オリジナルポーチ作成のワークショップを行い、制約がある中での商品企画を体験します。また、服飾史、ファッションデザイナー、オケーションについて学びます。その後PCでoffice（Word、Excel、PowerPoint等）の基本操作やタイピングを学び、応用としてブランディング、プレゼンテーションを行います。
	店舗設計・運営	
ファッション工芸	ファッション工芸	バッグや小物製作を行います。服作りでは学べない特殊な付属のつけ方などをバッグや小物の製作を通して学びます（各種ボタン・付属・ファスナー・テープ類・刺繍等）。また、職業用ミシン、工業用ミシン操作のスキルアップを目指します。
	工業用機器演習	
アパレルCAD	アパレルCAD	前期に学んだ知識をもとに、身頃原形のトレースと修正、パターンメイキング検定の過去問題を用いた応用課題、各種パンツの作図などを行います。
ビジネス コミュニケーション	ビジネスコミュニケーション	語学学習と合わせて、就職活動を進めるうえで必要な礼儀、マナーを身につけながら、ビジネスシーンにおいて必須ともいえる敬語（尊敬語・謙譲語）の使用について、改めて学びなおすとともに、一年次に履修した自己分析・自己PRを、より実践的に磨き上げ、就職活動に臨みます（履歴書作成指導や面接指導を含みます）。
	サービス接遇演習	
	自己分析・自己PR	

※実習内容（製作物等）は、年度により変わることもあります。